

「総ぐるみ」新聞

NPO総ぐるみ福祉の会

所在地…「京急ニュータウン」バス終点 徒歩2分

住所 横浜市港南区日限山4-39-19 日限山ハイツ101号室
電話 045-846-8850 FAX 045-370-7272

新理事長に保永（やすなが）博行氏が就任



新型コロナウイルス感染症予防のため、総ぐるみ福祉の会では、令和

3年度（第20回）通常総会を昨年同様に書面表決により実施。去る5月30日、その確認会議を議長・羽佐田恭正様、議事録署名人・坂巻武様にそれぞれお願いして、自治会館で開催しました。

「こぶし」や『日限山荘』などの総合事業については、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、行政からの度重なる指導や中止の要請があり、ほとんど活動ができませんでした」との報告がありました。

続く今年度の事業計画については「介護技術のさらなる研鑽に努め、地域のニーズに積極的に対応していきたい」と述べ、新しく大きくなった「たまり場・こぶし」の本格的な稼働に人材を投入していきたいと語りました。

今年度の通常総会で注目されたのは役員の変更です。新たに保永博行理事（上の写真・新理事長の挨拶等については次号掲載予定）が理事長に就任。創業以来20年間の長きにわたって理事長を務めた宮崎浩子理事が第一線を退きました。また新しく地元の小高典子氏と佐藤恵子氏が理事に就任しました。

今年も通常総会を書面表決で実施



昨年度の実績について、宮崎理事長より「介護ビジネス事業については、職員一同気を引き締めて全力で取り組んだ結果、ほぼ計画通りの数字を達成することができましたが、『たまり場・

「創業以来二十年間お世話になり、ありがとうございました」

このたび、20年という長い間務めさせていただいたNPO総ぐるみ福祉の会の理事長職を退任させていただき、皆様に心からのお礼と感謝を申しあげます。



思い返しますと平成13年のちょうど今頃、今は亡き増澤喜一郎さんに誘われ、介護事業を行うNPO法人を立ち上げようと、足繁く県庁のNPO担当部署に通ったことを思い出します。当時はNPOや介護保険

といっても「それなあに？」と聞かれるような時代で、増澤さんも「介護ビジネスが軌道に乗るまで相当な年月がかかるだろう。一番若い君が理事長をやれ」と半ば強引に決められました。その増澤さんの旧邸が、今年「たまり場・こぶし」として生まれ変わるのも、何か不思議な縁を感じます。

本当に長い間ありがとうございました。「NPO総ぐるみ福祉の会」とそこに働くメンバーの人たちを今後ともよろしくお願いたします。

理事（顧問） 宮崎浩子

お待たせしました。新「たまり場・こぶし」オープンです

当面は飲食等を伴わないプログラムを開催

本紙、前号でお知らせした新「たまり場・こぶし」が6月1日からオープンしました。しかし、残念ながら横浜市は県の「まん延防止等重点措置区域」に該当するため、「カフェ・



8畳+6畳と大きく広くなった手芸会場

こぶし」
「男の料理」
「一日限山荘昼食会」など飲食を伴うもの、また人の接触の多い「麻雀」などは引き続き中止と

総ぐるみ福祉の会・役員リスト

1面記載の通常総会の結果、6月1日より当会の役員は次の通りとなりました。
理事長・保永博行（新任） 理事・宮崎浩子（顧問）、布施信義、飛岡逸夫、塚田信三、福岡賀子、小高典子（新任）、佐藤恵子（同）。 監事・新見宏

し、当面は、毎週月・火に開催する「手芸」、後述の「古典を楽しむ会」と「短歌の会」、それと第2・第4木曜日に開催する「囲碁」を開催しています。なお、第2・第4土曜日開催の「パソコン勉強会」はWiFi装置の工事が遅れています。詳しくは「たまり場・こぶし」の入り口左側壁面の掲示板をご覧ください。

「古典を楽しむ会」と「短歌の会」へのお誘い

「古典を楽しむ会」は毎月の第1木曜午後一時から「たまり場こぶし」に集まり、用意されたテキストを読みながら、主宰者が簡単な解説を加えるというプログラムです。

古典のテキストはその都度主宰者が選んでおり、参加者は聴くだけで特にすることはありません。参加者のあいだで、古典をテーマに歓談しながら楽しく過ごすという時間です。ちなみに前回は、松尾芭蕉の「奥の細道」を取り上げました。

一方の「短歌の会」は毎月第3木曜午後一時から、同じ「たまり場こぶし」で会員のつくった短歌を互選し合っています。現在では5名の会員が毎月集まって歌を詠み、互選され

ご寄付ありがとうございました
昨年度、次の方々からご寄付をいただきました。心よりお礼申し上げます。

「令和2年5月」岡野美樹・道子様、「6月」桑田ミツエ様、今川富佐子様「7月」小林一彦様、小高典子様、「10月」宮原光輝様、「12月」笹路眞三・康子様、廣田明子様、小林一彦・よし江様、「令和3年1月」利光雅子様（ご寄付月日順に記載）

た結果は毎月の「短歌の会月報」にまとめてお配りしています。入会ご希望の方はまず「短歌の会」に参加していただき、司会者の案内にしたがって互選の楽しさを体験していただきます。

「古典を楽しむ会」も「短歌の会」も、格別な経験は不要です。また古典や短歌についての知識・経験などのご心配も無用です。前向きの好奇心さえあれば、それで十分ですので、この際、ぜひご参加を検討してみてください。

ご不明のことについては、最相（さいしゅう）電話045・843・2588（さいしゅう）さんに直接お問い合わせください。